

# 第5回国立公園満喫プロジェクト有識者会議

## 議事次第

日時：平成29年5月12日（金）

9：45～11：45

場所：航空会館 702+703 会議室

### 1. 開会

### 2. 議事

（1）国立公園満喫プロジェクトの実施について

（2）その他

### 3. 閉会

## 配付資料一覧

資料 1 国立公園満喫プロジェクトの取組状況

資料 2 国立公園満喫プロジェクトを進めていく上での考え方

資料 3 国立公園満喫プロジェクトの今後の進め方

参考資料 1 選定 8 公園ステップアッププログラム 2020  
(第 4 回有識者会議資料)

参考資料 2-1 国立公園別訪日外国人利用者数推計値等  
(第 4 回有識者会議資料)

参考資料 2-2 先導的モデルとなる国立公園の選定について  
(第 3 回有識者会議資料)

参考資料 2-3 国立公園満喫プロジェクト実施箇所の選定にあたっての基本的な考え方  
(第 3 回有識者会議資料)

参考資料 2-4 実施箇所の選定にあたってのメルクマール  
(第 3 回有識者会議資料)

参考資料 3 国立公園満喫プロジェクト有識者会議 委員名簿

# 国立公園満喫プロジェクトの取組状況

(1) 広域連携

(2) 国と地方の連携

(3) 民間事業者との連携

(4) 公共施設の民間開放

(5) 引き算の景観改善

(6) 利用料等を保全に還元する仕組み

(7) プロモーション

# (1) 広域連携① (国立公園周辺を含むルート設定)

## ① 広域周遊観光ルートとの連携

・ 広域周遊観光ルートのモデルコースへの国立公園の組み込み

(例)・「縁の道」: 大山隠岐国立公園など

・「温泉アイランド九州広域観光周遊ルート」:  
阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園など



「縁の道」モデルコース:  
ジオパーク&ナショナルパーク・アクティビティ

## ② ファムトリップの実施

- ・ 6月の日光国立公園を皮切りに、8公園において、受け入れ体制や各種コンテンツの充実を目指し、海外に強いエージェントやメディア等を招致してファムトリップを実施予定 (地域関係者からなるWGにて検討)
- ・ 国立公園内だけでなく、公園区域外を含むルートを検討
- ・ 東北観光推進機構や山陰インバウンド機構など、広域組織とも連携し、PR等も実施予定 (ファムトリップの成果を広域観光周遊ルートに組み込むこと等も検討)

(参考) 日光国立公園におけるファムトリップスケジュール(予定)



※十和田八幡平: 7月頃プレファムの実施を予定、その他の公園: 5月中を目途に進め方を整理予定



# (1) 広域連携② (国立公園と温泉地)

## ■ 温泉の利用状況

- 平成28年度の利用者約 1 億3,200万人
- 近年、国内外からの宿泊者が増加傾向
- 観光地としてのポテンシャル大

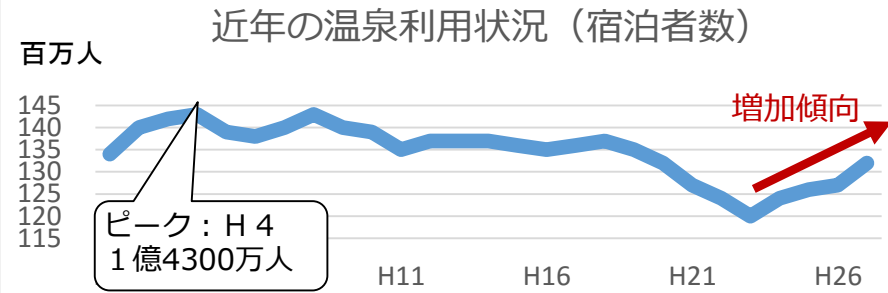
## ① 「全国温泉地サミット」開催

温泉地の首長が集まり、意見交換を行い、連携を強化

## ② 民間との協力

「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」※への協力等

※ 温泉地を起点に地域の食・自然・歴史をめぐるツーリズム

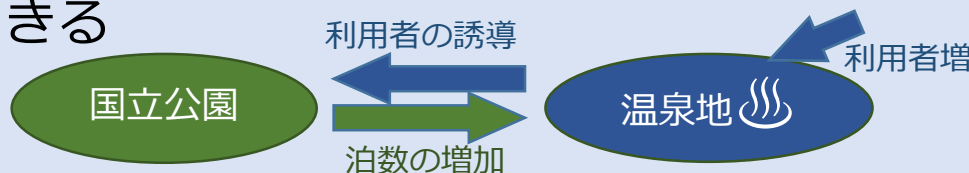


地獄蒸し (別府市)



## ■ 今後の展開

- 国立公園内及び周辺には多くの温泉地あり
- 連携した取組により、温泉地から国立公園へ誘導、国立公園のプログラム充実による温泉地での泊数増加などの相乗効果が期待できる

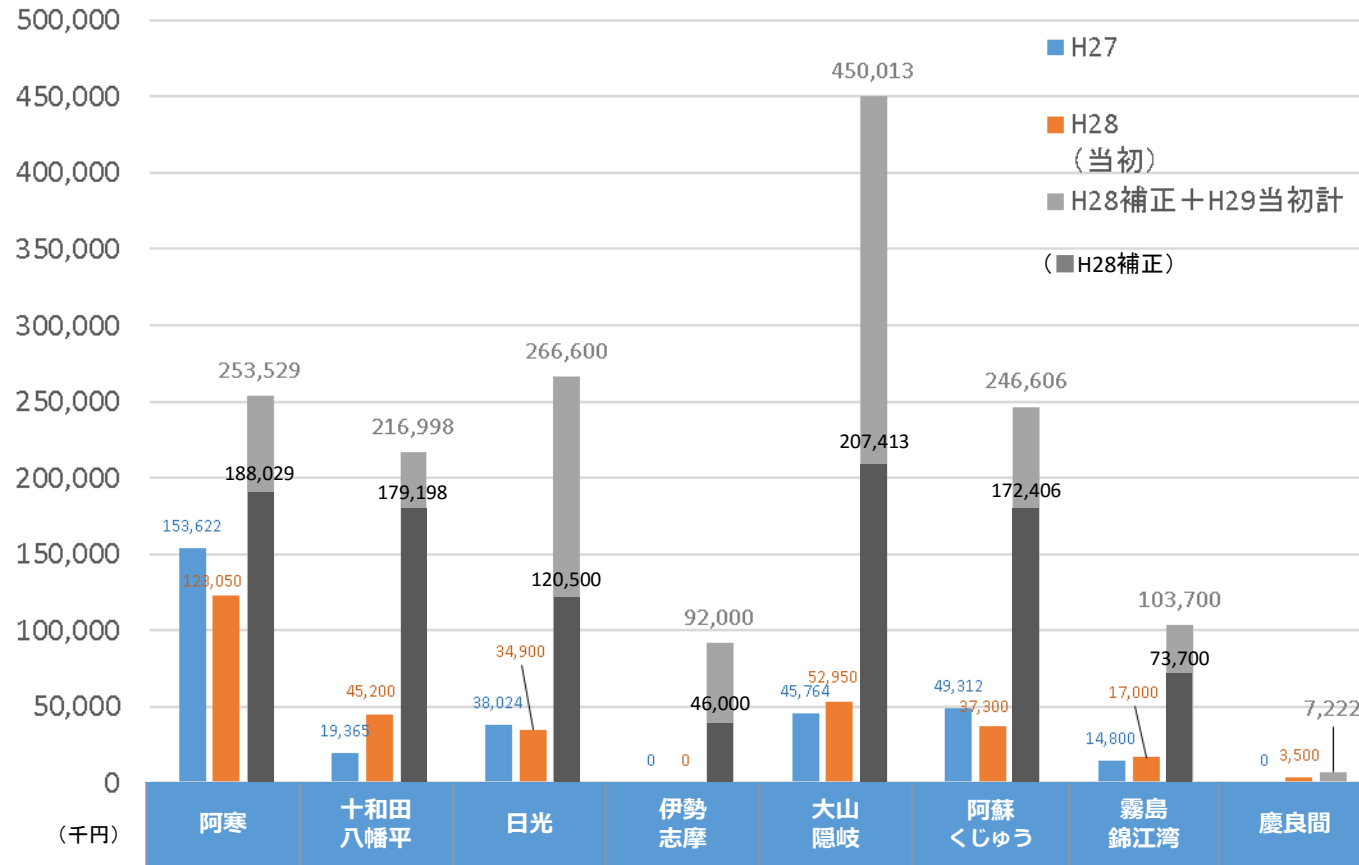


# (2) 国と地方の連携①

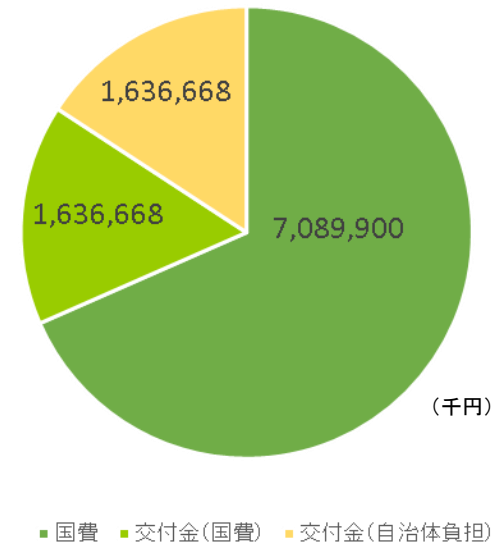
## ①選定8公園関係道県交付金活用状況（自然環境整備交付金）

- ・ 国立公園満喫プロジェクト整備費総額10,363,236千円（H28補正 + H29当初） ※自治体負担含む
- ・ 国立公園満喫プロジェクトの実施により、選定8公園関係道県の交付金活用額が増加
- ・ 道県費による国立公園の整備を実施していなかった自治体が、本交付金を初活用
- ・ H29の交付金要望額は交付額の約2.5倍

○自然環境整備交付金比較グラフ（国費）



事業費割合  
(H28補正 + H29当初)



## (2) 国と地方の連携②

### ②他省庁による支援メニュー等の活用状況

#### ■ 十和田八幡平国立公園におけるファムトリップ等の実施

- ・ 関係三県が東北観光復興対策交付金を活用し、新たなツアーコンテンツの開発、ファムトリップ等を実施

#### ■ 日光国立公園における景観改善

- ・ 国交省交付金を活用して、日光駅～世界遺産周辺までのアクセスルートにおいて電線地中化を実施中

#### ■ 大山寺地区における景観改善・利用環境の充実

- ・ 内閣府交付金を活用し、廃屋を撤去しつつカフェや物販機能を有する「山の駅（仮称）」を整備予定
- ・ 内閣府交付金を活用し、廃業中の民間施設をツアーデスクや休憩所等にリニューアルし、文化庁補助金を活用し大山寺の魅力を紹介する映像制作を実施予定

#### ■ 阿蘇くじゅう国立公園におけるアクティビティ開発

- ・ 内閣府交付金を活用し、インバウンドを含む交流人口の拡大を図るため、世界的な発信力のあるモンベルと連携して、ジャパンエコトラックコース認定に向けた機運醸成・アクティビティ開発等の事業を実施予定

# (3) 民間事業者との連携

## ① REVICとの連携協定締結

- ・ 環境省と地域経済活性化支援機構（REVIC）との連携協定を締結し、ファンドを活用した国立公園の民間事業者の支援や事業再生等に連携して取り組む

### <連携事業の例>

- － 十和田八幡平国立公園における玉川温泉の事業再生
- － 阿蘇くじゅう国立公園の復興支援等



## ② 観光協会等の連携

- ・ 日光国立公園内の関係観光協会等が連携し、日光国立公園内に散在する観光地、日光・鬼怒川・湯西川・塩原・那須を結ぶバス（日光・那須満喫ライナー）の試験運行を、H29年5月13日～6月4日の期間の土日（計8日間）実施
- ・ JR日光駅ツーリストインフォメーションセンター（JR東日本大宮支社・日光市・日光市観光協会の三者で運営）において、日光国立公園全体の情報発信強化として、那須エリア等のパンフレットも設置



# (3) 民間事業者との連携

## ③ オフィシャルパートナーとの連携

- ・ 環境省と企業が協力し、国立公園の魅力を世界に発信する国立公園オフィシャルパートナーシップを31社と締結。
- ・ HP、機内誌等での国立公園の紹介や、旅行商品の造成・販売が行われているほか、観光庁が作成した国立公園満喫プロジェクト8公園の魅力を紹介する動画を5月より成田空港で放送開始し、ANA、JALの機内でも6月より放送する方向で調整中。
- ・ H29.4に栃木デスティネーションキャンペーンの全国宣伝販売促進会議を開催（全国の旅行会社を集めたプレゼンテーションや商談会、現地視察を実施）  
※プレゼンテーション及び現地視察では、国立公園内（中禅寺湖、湯元、那須平成の森フィールドセンター等）についても紹介





# (4) 公共施設の民間開放

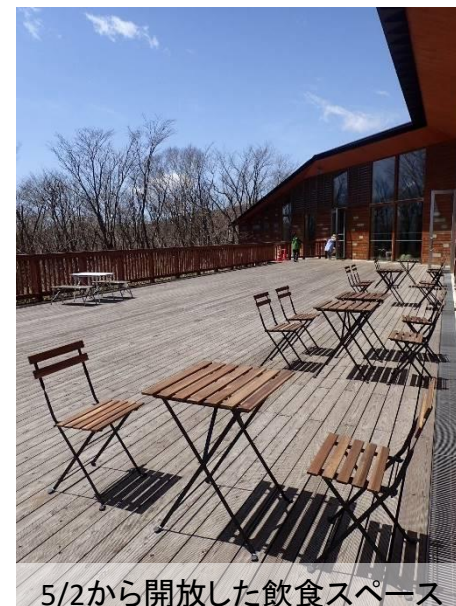
## ① 天空カフェの設置

- ・伊勢志摩国立公園において、英虞湾の景色が一望できる横山展望台に、民間のカフェを導入
- ・H29年度中の施工完了を目指し、現在設計中
- ・公募により民間事業者を選定予定



## ② 那須平成の森フィールドセンターでのカフェスペース設置

- ・地元在住デザイナーの助言を受け、イス・テーブル等を設置し、5/2より飲食スペースとして開放
- ・H29.5~6頃より、地元カフェ等による出店形式での飲食提供を行うカフェスペースとして試験的に開放予定



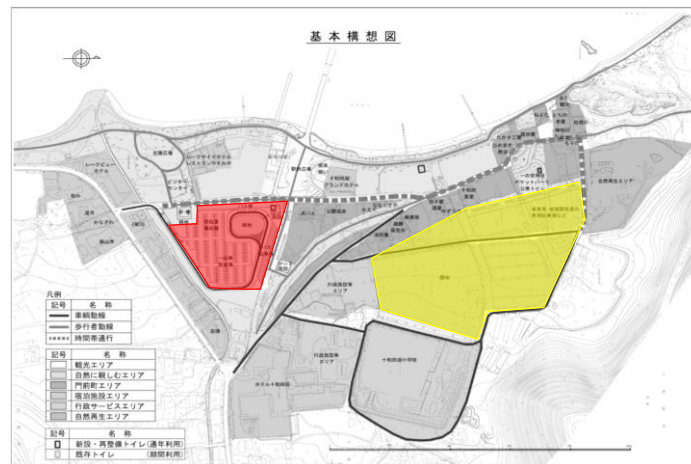
# (5) 引き算の景観改善①

## ① 十和田湖畔の休屋地区における景観改善

### 【十和田八幡平国立公園】

- 休屋地区において、廃屋を含むエリアにおける園地、駐車場の再整備等による景観改善に向け、地元関係者と調整中。平成29年度に基本設計、平成30年度に工事予定。

【十和田八幡平NP】 休屋地域における再整備計画



- 駐車場を含む園地の再整備
- 意見交換会により園地再整備内容を検討中

## ② 大山寺地区における景観改善

### 【大山隠岐国立公園】

- 大山寺地区において、地元自治体が内閣府の交付金を活用し、廃屋を撤去しつつカフェや物販機能を有する「山の駅（仮称）」を整備予定



# (5) 引き算の景観改善②

## ③ その他の国立公園における廃屋対策の状況

### 【阿寒国立公園】

- ・ 地元関係者において川湯温泉街の再生・活性化について、勉強会などを実施し廃屋の対策について検討中。

### 【日光国立公園】

- ・ 湯元集団施設地区内の利用者が集中するバスロータリーに面したガソリンスタンドに対し、環境省において撤去に向けた手続き中。



【阿寒NP】川湯温泉街の廃屋



【日光NP】ガソリンスタンドの廃屋

## ④ 岩手山地域登山口看板整理

### 【十和田八幡平国立公園】

- ・ 岩手山の主要登山口に乱立する各種標識、看板を整理統合にむけ関係自治体と調整中



岩手山焼走り登山口

## ⑤ 電線の地中化

### 【日光国立公園】

- ・ 国交省交付金を活用して、日光駅～世界遺産周辺までのアクセスルートにおいて電線地中化を実施中





# (6) 利用料等を保全に還元する仕組み

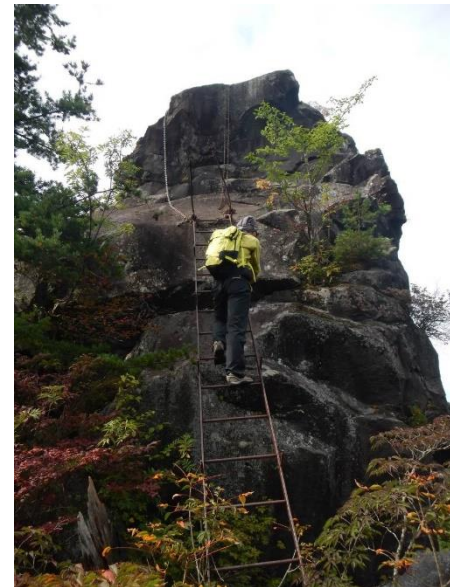
## ① 草原フィールドミュージアム

- ・ 阿蘇くじゅう国立公園において、希少な植物が生育する草原を柵で囲った上で一般開放し、入場者に草原の保全・再生に活用するための環境保全協力金を求める
- ・ 平成29年度に具体的な実施体制等を検討し、平成30年度より着手予定



## ② 旧修験道のガイド付き限定利用

- ・ 十和田八幡平国立公園の休屋地区において、十和田信仰を体感するため旧修験道を新たな歩道として整備し、ガイドを通じて歩道の維持管理等に活用するための協力金を集める仕組みを構築
- ・ 平成29年度中に関係者との調整、設計等を行い、平成30年度中に供用開始予定



## ③ ロッカー、シャワー使用料

- ・ 大山情報館の登山基地機能強化として、ロッカー、シャワールームを新設し、利用者から料金を徴収して管理の充実に充てる

# (7) プロモーション

## ① ブランディング、プロモーション計画の検討

- ・プロモーションを行う重点ターゲットを検討  
自然公園利用者数調、インターネット調査等から、出国者数・訪日意向者数を把握し、重点ターゲット国を整理。  
(整理の視点)
  - ・訪日意向者数のボリュームの大きい国
  - ・2016年の国立公園利用率が25%未満の国

※東南アジア（インドネシア、タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナム）は、費用対効果の観点から統一的なプロモーションが可能か検討

- ・6月中を目途に国立公園全体のブランディング、統一マークを策定予定。
- ・その上で、ブランドの海外発信、ターゲット国を考慮した誘客プロモーション、統一マークでの看板の整備、地域へのブランド浸透講習等を予定。

### 中国・ドイツ・イギリス

訪日意向者ボリュームが大。国立公園を核に、訪日意向を高める訪日前プロモーションを強化

### 韓国・香港・アメリカ

訪日数が100万人を超。国立公園利用率が低い。訪日前・中のプロモーションを強化

## ② SNSの活用、多言語化

- ・国立公園公式SNS（インスタグラム、Facebook）開設。平成29年度よりライティングによる英語の記述に移行。

※インスタグラム：フォロワー約2900（4月末時点）4月以降投稿への「いいね！」等増加

- ・英語版国立公園リーフレットもライティングにより作成予定。案内看板等も同様に英語版の作成を準備中。  
(中国・韓国語についても今後検討)



## 国立公園満喫プロジェクトを進める上での考え方 ー有識者会議の議論を踏まえてー

### ◎日本の国立公園の特徴

- ・国立公園が我が国の自然保護の根幹を支える制度として果たしてきた役割は大きく、今後も依然として大きな役割を果たしていく
- ・日本の国立公園は、区域の中に人が住み、自然と長い時間をかけて付き合ってきた地域の暮らし、そこで育まれた文化や歴史が根付いており、こうした自然と人間の共生の姿こそが世界に誇る日本のナショナルパークであると言えるのではないか
- ・国立公園は制度の創設経緯からインバウンドを意識したものであり、こうした歴史的経緯を踏まえて今の時代にあった新たな国立公園の姿を考えることが必要

### ◎基本的な視点

#### ■最大の魅力は自然そのもの

- ・国立公園はそこにある豊かな自然環境が適切に保全されていることこそが魅力であり、地域の観光産業をはじめとする様々な生業を支える資源である
- ・このため、新たに大きな開発を行うのではなく、マイナス要因を取り除くなど、自然そのものの魅力を生かすことにより利用の推進を図ることが重要

#### ■暮らしとともにある国立公園

- ・日本の国立公園は観光地としての価値だけでなく、人が住む場所としての価値がある
- ・人が住むことにより、自然とのつきあいの中で積み上げられてきた文化や歴史がその地域の魅力となる
- ・地域の観光業者やそれを支える様々な地域の産業が経済的に持続可能となるモデルをつくりあげることが必要

#### ■体積で考える

- ・観光客数だけでなく一人当たりの消費額を掛け合わせた体積（観光消費額全体）で考えることが必要
- ・多様な階層のニーズに対応した施設やサービスを提供することが重要
- ・頂点を引き上げることで裾野が広がっていく

#### ■国内需要も大事

- ・人口減少が進む中、国内旅行消費額は今後大きくは伸びないが、シェアとしては圧倒的に多い
- ・インバウンド対策を意識することにより、外国人旅行者の新たな視点による魅力

の発見、ユニバーサルデザインの浸透など、観光地全体のサービス向上につながる効果が期待

### ■広域的な視点で考える

- ・利用者の目線から国立公園を核として広域的な観光圏を形成していくという視点が重要
- ・国立公園へのアクセスルートはまっすぐ最短距離ではなく、移動中も自然と共生する暮らしが垣間見える多様なルート設定が考えられる
- ・温泉や食などと一体となったルートやメニューを充実させ、地域経済を活性化させることが重要

## ◎具体的な課題

### ■利用者目線の情報発信とホスピタリティの向上

- ・専門的で難解なガイダンスを排し、利用者が楽しみながら教養を高めることができるような内容とするよう検討
- ・多言語表記の際は、日本語の翻訳ではなくネイティブのライターが書き下ろすなど、その言語を母国語とする外国人が読んで違和感のない内容とすることが必要
- ・展望台やビジターセンターなど美しい景色を眺められる場所でゆっくりと休憩できるよう、カフェやベンチなどを整備することが必要

### ■民間活力による利用者層に対応した宿泊施設、キャンプ場の整備

- ・高い交通費と安い宿泊施設の不マッチが生じている
- ・民間活力を生かして、自然環境に配慮した小規模で上質な宿泊施設の誘致を検討
- ・過去に整備されたキャンプ場は、主に集団生活の体験を意識した作りとなっており、現在の個人旅行客向けのニーズに対応できていない
- ・民間のノウハウを生かして現在のニーズにあったキャンプ場へのリニューアルを進めることが必要

### ■引き算の景観改善

- ・「衆」から「個」へと変化する観光客のニーズに対応できずに取り残された廃屋などのマイナス要因を取り除くことでプラスに転じていく引き算の景観改善を進める
- ・統一性を欠き乱立する案内看板等については、統一したデザインコードにより整理統合を図る

### ■利用料等を保全に還元する仕組み

- ・適切な利用料等を徴収することで、自然環境への負荷を抑制するとともに、保全やサービス向上のために必要な資金を確保する仕組みをつくる

## 現状

- 先進的、集中的に取組を行う公園【8公園】
  - ・公園単位で地域協議会設置
  - ・総合的な施策を展開

- 選定要望をしたその他の公園【8公園】
  - ・公園内の限定した地域において施策を実施予定

- 上記以外の公園【18公園】
  - ・基盤整備や海外発信等を中心に推進

## 今後

- 先進的、集中的に取組を行う公園【8公園】
  - ・地域協議会を継続し、ステップアッププログラムに基づく総合的な施策を展開

- 個別のエリア、テーマ等で集中的に取組を行う公園
  - ・公園内の限定した地域、または、特定のテーマを持った事業等、熱心な自治体等と連携したコンパクトで効果の高いソフト事業を中心に実施

- 上記以外の公園
  - ・国立公園全体の共通の取組として、基盤整備（WiFi整備、多言語対応、ユニバーサルデザイン化等）や海外発信等を中心に推進



# 個別のエリア、テーマ等で集中的に取り組を行う 公園について

## 満喫プロジェクト推進のポイント

- 日本の国立公園の魅力は豊かな自然 + 人々の暮らしや文化
- これらに関係する人々の協働が重要であり、地域協議会による地域の一体感・盛り上がりが推進の原動力となっている



## 第4回有識者会議(2/9)での主なご意見

- 1000万人の目標達成のためには、選定 8 公園だけでなく、すでにたくさんお客さんに来ていただいているところを改善しないと目標達成は厳しい
- 熱心な都道府県、市町村と連携し、個別のエリア、ビューポイントに限定した取組も重要
- 公園外も含めた広域的なプランニングが必要
- 適切な多言語化等、外国人の視点に立った基盤整備が必要



## 満喫プロジェクトによる効果的な取組

先行する 8 公園での取組を踏まえ、目標達成に向けた即効性があり効果的と考えられる取組は以下のとおり

- ・交通事業者や海外にある旅行会社と連携した国立公園PRコンテンツの作成とPR ← 観光庁作成国立公園PR動画のANA・JAL等での放映
- ・海外にある旅行会社や交通事業者と連携した、大都市圏からの誘客のための戦略策定と実行（モデルツアー開発、PR等）  
↑ 日光国立公園における公園内周遊バスの試験運行と交通事業者と連携したPR
- ・地元で活動している外国人等による里山文化体験開発を中心とした戦略策定と実行（モデルツアー開発、PR等）
- ・限定エリアを対象とした景観デザインの統一ルール策定や外国人目線に立った二次交通/情報発信の改革等



選定 8 公園の取組を推進しつつ、その成果を活かし、即効性のあるソフト事業を中心とした自治体や民間事業者等との連携プロジェクトを他の公園でも実施

※ハード整備については、ソフト事業に深く関連するものに限定して、予算の範囲内で一部実施



# 個別のエリア、テーマ等で集中的に取り組む 公園について

## 今後展開する事業に必要な事項

以下のいずれかに該当すること

- 現在の訪日外国人来訪者数が多いこと
- 大都市圏等の主要利用拠点からアクセスがしやすいこと
- 公園外も含めた広域連携や官民連携により効率的・効果的な成果が見込まれること
- 他地域のモデルとなる先進的な取組であること



以下のすべてに該当すること

- ①自然環境を損なうことのないよう十分な配慮がなされていること
- ②主体的に取り組む意志があり、自主的な予算の確保や関係者との連携体制の構築がなされていること
- ③利用者数又は消費額単価の向上が期待でき、2020年の数値目標を有しており、目標達成に向けた具体的なスケジュールが示されていること
- ④プロジェクトのエリアやテーマが絞り込まれていること（総花的なプロジェクトでないこと）



自治体等の提案を踏まえ、環境省が上記必要事項に基づき  
「国立公園満喫プロジェクト展開事業」  
として位置づけ、自治体等と連携してプロジェクトを実施

## 選定8公園における取組例

### 慶良間諸島国立公園

美ら海慶良間 ～リゾート・海と島がつくるケラマブルーの世界～

保全活動への参加体験や**入島時の環境協力税の活用**による魅力の向上

- ▶ 入島時に環境協力税の徴収（H29より検討開始）
- ▶ 阿嘉島の養殖施設で育てたサンゴによる自然再生活動の体験



### 大山隠岐国立公園

日本の大地の成り立ちが刻まれ、神話・信仰が息づく山・島・海～山から海まで多彩な自然の恵みを楽しむ～

**公共施設の民間開放**など民間活力を活用し、トレッキングや自然・文化体験など様々なアクティビティを手づらで楽しめる総合利用拠点を整備

- ▶ 官民連携により、ツアーデスクやロッカー・更衣室の設置、登山用品の貸出、廃屋撤去や空家の活用によるカフェや土産物店などの誘致（H28年度より着手）
- ▶ キャンプ場再整備と民間事業者によるグランピング等の誘致



### 阿寒国立公園

火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する

自然の保護を大前提とした**新たなアプローチ**によるアクティビティ、**上質で心地よい**滞在空間の創出、アイヌ文化の体感などの推進により原生的な自然の世界を堪能

- ▶ 阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー 聖地「釧路川」でのカヌーツアー
- ▶ 眺望を楽しめる場所へのカフェの併設 富裕層をターゲットとした宿泊施設の誘致（H28年度より着手）
- ▶ アイヌの思想・精神に沿ったプログラム

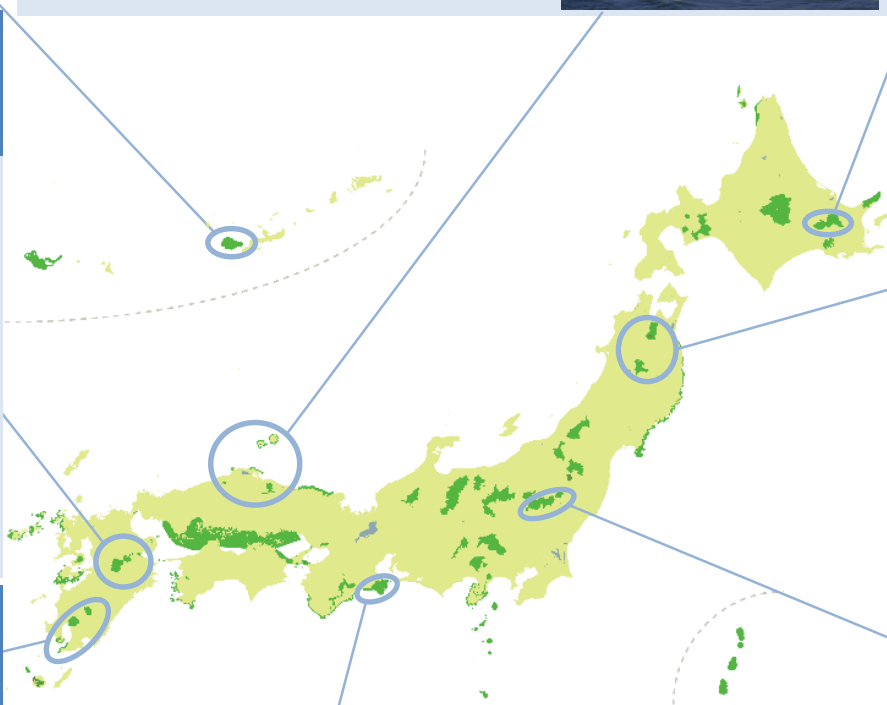


### 阿蘇くじゅう国立公園

復興の大地 ～草原のかほり、火山の呼吸。人が継ぎ、風と遊ぶ感動の大地～

人の手で引き継がれてきた草原空間を核としたフィールドミュージアム構想を基本とし、**利用料負担金による草原再生**を検討するとともに、火山と草原が作り出す雄大な景観を味わえる体験を提供

- ▶ フィールドミュージアム拠点施設整備の検討（H29より検討開始）
- ▶ 野焼き、放牧などの継続支援や、利用者負担導入検討による草原再生（H29より検討開始）
- ▶ ホーストレッキング等、草原景観を楽しむ新たなアクティビティの開発
- ▶ 絶景の中を走る道路を活かしたサイクリング・ツーリングコース設定やイベント開催



### 十和田八幡平国立公園

みちのくの脊梁 ～原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場～

原生自然を堪能する多彩な登山道、昔ながらの趣ある温泉文化を楽しむ。廃屋などの景観を阻害する施設を撤去する**“引き算”の景観改善**により、魅力的な利用拠点にリニューアル

- ▶ ロングトレイル等の多彩な登山道整備
- ▶ 温泉・秘湯・湯治場での外国人旅行者の受入態勢の強化
- ▶ 休屋休平地区、見返峠の廃屋撤去、魅力的な利用拠点として、総合的再整備（H28年度より着手）



### 霧島錦江湾国立公園

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾～まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食～

歴史と神話に彩られた火山景観を体感できる多様なツアープログラム開発や多種多様な泉質の温泉を外国人旅行者も楽しめるよう再整備を検討。**上質なホテルの誘致**も行い、各地域を長期的に満喫できる滞在型観光へ

- ▶ 登山と神話をミックスさせたツアープログラムの開発
- ▶ 天然温泉掘り・桜島ナイトツアーなど既存プログラムの磨き上げの検討
- ▶ 外国人旅行者が利用しやすい個室露天風呂などへ再整備を検討
- ▶ 上質なホテルやグランピング施設の誘致（H29より着手）



### 伊勢志摩国立公園

悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海

リアス式海岸の地形と人々の営みがあわせて作りだす優美な里山里海の景観を望む展望台に**民間カフェを導入**し、ゆっくりと快適な時間を創出

- ▶ 英虞湾を望みゆったりとくつろぐ“天空カフェテラス”の整備（H29より着手）



### 日光国立公園

NIKKO is NIPPON 自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる東京圏のプレミアムリゾート

**上質なホテルの進出**も見据えつつ、世界文化遺産「日光の社寺」、旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能できるよう、**公共施設を民間開放**

- ▶ 那須平成の森フィールドセンターへ、皇族が親しんだ那須の自然を感じながらゆったり休めるカフェスペースの併設など
- ▶ ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討（H29より検討開始）
- ▶ 外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築（H29より着手）



#### 共通の取組

民間企業や関係機関と連携した国内外への魅力発信

国立公園のエントランス標識整備による結界感の創出

ビジターセンターにおける公園利用の総合案内

トイレの洋式化などのユニバーサルデザイン化



# 阿寒国立公園 満喫プロジェクト


火山と森と湖が織りなす原始的な自然を堪能する


(数値目標) ~ 訪日外国人利用者数 6.3万人(2015年) → 15万人(2020年) ~


## 特徴①

### 原始的な自然で過ごす「上質な時間」

眺望や居心地のよい宿泊施設、展望施設、カフェでの滞在、それぞれ特色の異なる温泉での保養など、原始的な自然の魅力を実感しながら上質な時間を過ごす

 眺望や静寂な雰囲気を楽しめる場所へのカフェの併設

 富裕層をターゲットとした宿泊施設の誘致  
(H28年度より検討に着手)


 温泉街の再生




## 特徴②


### 原始的な自然の「新たな活用」

カヌーやトレッキング、バードウォッチングなど、原始的な自然への新たなアプローチも含めたローインパクトなアクティビティを通じ、自然の雄大さやパワー、生きもののたくましさ直接ふれる

 マリモ観察ガイドツアー、聖地「釧路川」でのカヌーツアー、雲海ツアー  
(H29年度までに適切な利用のあり方全体構想を策定)

 新たな魅力地点につながる歩道の整備、エコミュージアムセンターの再整備  
(H29年度までに施設整備計画を策定)

 静かな湖畔でのグランピング

 地域の魅力を生かしたロングトレイルの設定


 サイクリングロードの設定



## 特徴③

### 「アイヌ文化」の体感

古くから伝わるアイヌの祭事や伝統文化など、我が国の先住民族であるアイヌの文化を体感する

 アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム



アイヌコタン



ビューポイント

公園全体の取組



屈斜路湖



川湯温泉・硫黄山



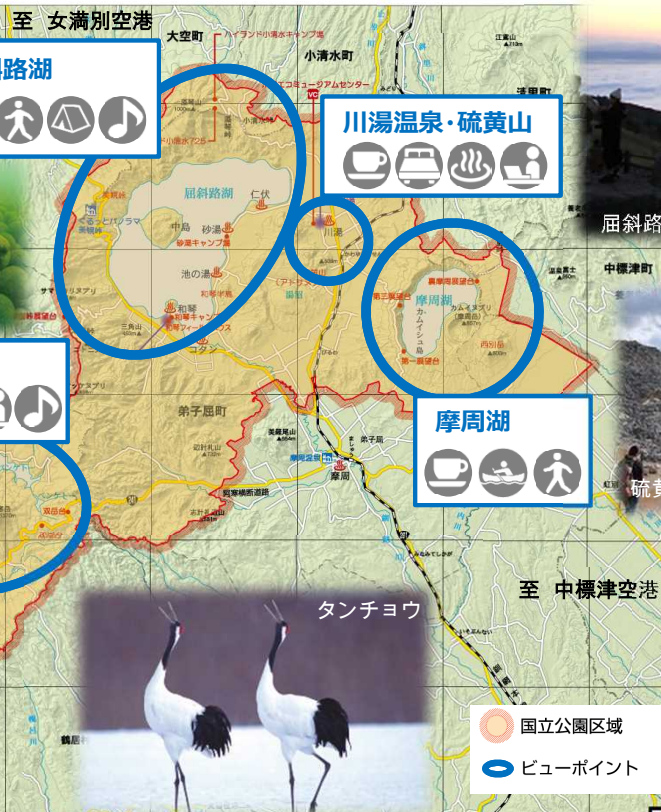
阿寒湖



摩周湖



オンネトー・雌阿寒岳



屈斜路湖の雲海

中標津町

川湯温泉

硫黄山

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

至 中標津空港

オンネトーからみた雌阿寒岳と阿寒富士

阿寒湖でのカヌーツアー

至 釧路空港

摩周第一展望台からの眺め



# 十和田八幡平国立公園 満喫プロジェクト

## みちのくの脊梁





～原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場

(数値目標) ～ 外国人利用者数 2015年の3倍(2020年) ～  
7千人 → 2.1万人

### 特徴①

#### 歩いて楽しむ四季の移ろい



山岳を縦走する本格的な登山道から、日帰りで楽しめる登山道まで、原生自然を堪能する多彩な登山道を整備

-  青楓山バイパス整備にあわせて順次マイカー規制を導入し、奥入瀬渓流を静かに堪能
  -  ロングトレイル等の多彩な登山道の整備
  -  登山道の標識の統一、多言語化
  -  十和田信仰を体感するガイド付き限定歩道の新設
- ※上記についてはすべてH28より着手

### 特徴②

#### 長期滞在で温泉・湯治文化を満喫

活発な火山現象を背景とした良好な泉質に恵まれた個性豊かな温泉や旅館で、昔ながらの趣のある温泉文化を楽しむ




-  外国人旅行者の受入体制の強化
-  REVIC※の支援による玉川温泉の再生と連携した魅力向上 (H28より着手)



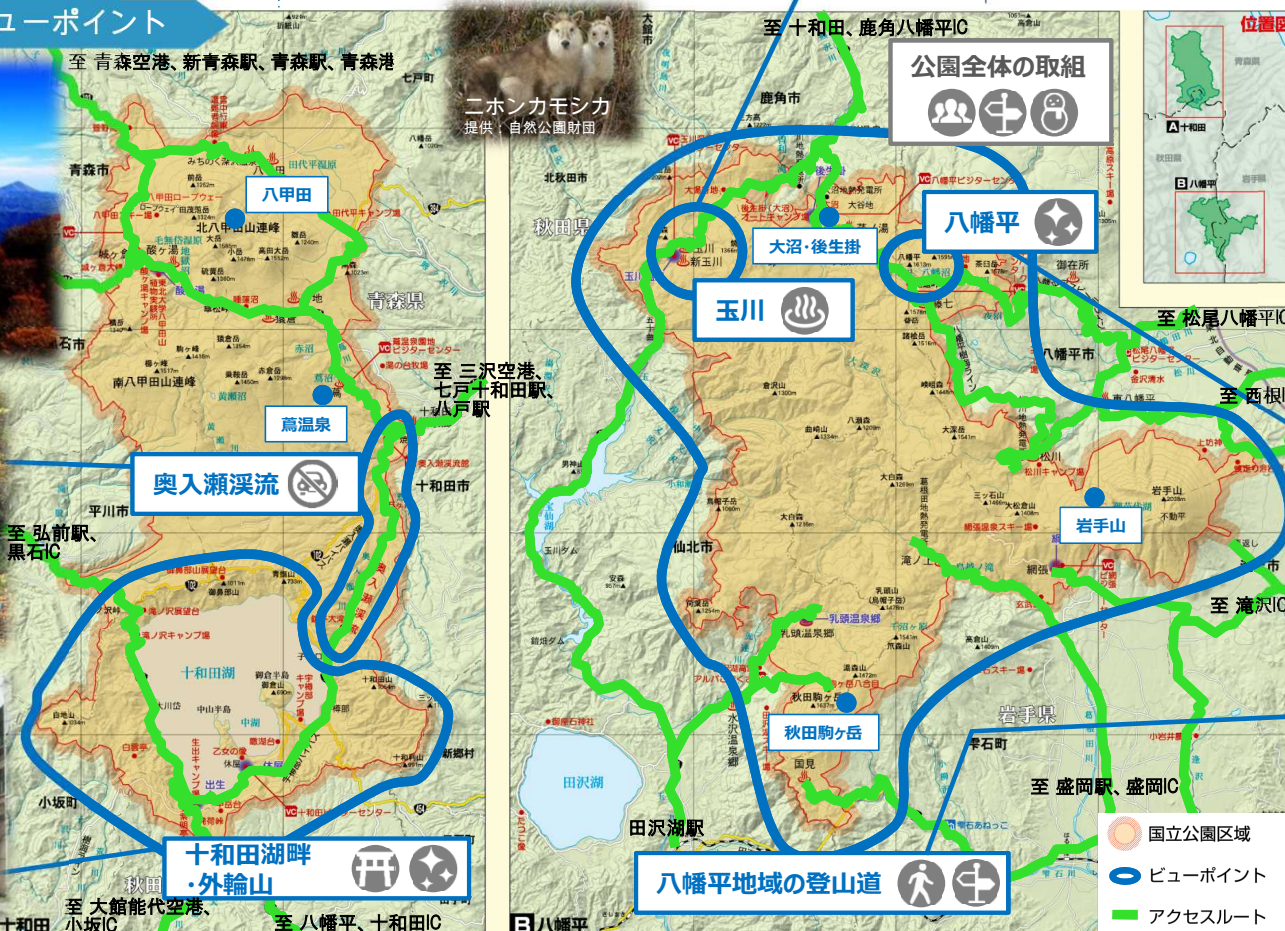
### 特徴③

#### 国立公園一等地の上質な滞在空間への再生

廃屋などの景観を阻害する施設を撤去する“引き算”の景観改善により、広大な原生林と湖、なだらかな火山群などの世界に誇る傑出した風景を損なわない、魅力的な利用拠点にリニューアル

-  休屋休平地区の廃屋を撤去し、地区全体を総合的に再整備 (H28年度より着手)
-  見返峠の廃屋を撤去し、八幡平登山の入口に相応しくするための総合的な再整備 (H28年度より着手)
-  四季を通じて楽しめるよう冬のアクティビティの充実

### ビューポイント





# 日光国立公園 満喫プロジェクト

NIKKO is NIPPON

自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる東京圏のプレミアムリゾート

(数値目標) 外国人利用者数 19万人(2015年) → 50万人(2020年)  
外国人宿泊者数 9.6万人(2015年) → 25万人(2020年)

## 特徴①

### 滝・渓谷・湖を堪能する水のアクティビティと多様な温泉

華厳の滝、中禅寺湖、戦場ヶ原、鬼怒川、塩原渓谷など、水を巡る多くの見どころで、トレッキング、ラフティング、キャニオニング、カヌーなどのアクティビティと様々な泉質・色の温泉を堪能

- 観光案内所や宿泊施設などにおいて、日光国立公園のアクティビティや観光地の情報を一体的に紹介 (H29より着手)
- レンタサイクルシステムの導入や水上交通など、新しい交通手段の検討・整備による周遊性の向上 (H29より一部着手・検討開始)

## 特徴②

### 世界レベルの文化を有する歴史的国際観光地

世界文化遺産「日光の社寺」、中禅寺湖畔の旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能

- 那須平成の森フィールドセンターへ、皇族が親しんだ那須の自然を感じながらゆったり休めるカフェスペースの併設など
- ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討 (H29より検討開始)
- 外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築 (H29より着手)

## 特徴③

### 東京圏で日本の自然・歴史・文化を体感

東京からわずか2時間で日本の高原の自然や歴史文化を体感できることを活かし、交通事業者と連携した取組を推進

- 自治体・交通事業者・観光事業者等が連携した「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンの実施
- JRの豪華寝台列車「四季島」の停車、東武鉄道SL復活運転プロジェクト、日光と那須をつなぐバスの試験運行など、交通事業者との連携による強力な誘客 (H29より着手)
- パーク&バスライドなどの実施による渋滞対策

## ビューポイント





# 伊勢志摩国立公園 満喫プロジェクト

悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海

(数値目標) ~ 外国人利用者数 3.3万人(2015年) → 10万人(2020年) ~

## 特徴①

### 里山里海の風景を眺めるゆとりとくつろぎの環境整備

人々の営みと自然が織りなす優れた里山里海の景観を眺めながらゆとりと快適な時間を過ごすことができる環境を整備する



英虞湾を望みゆとりとくつろぐ“天空カフェラス”の整備等 (H29より着手)



アワビ



海女漁のようす

## 特徴②

### 悠久の歴史の中で築き上げられた文化、食、自然を実感する質の高い自然体験

自然と人との関わりの長い歴史の中で築き上げられてきた自然、歴史、文化、食をストーリー性を持った質の高い自然体験プログラムとして提供する



海の幸を提供する海女小屋等との連携



自然、歴史、文化やサミットで提供された県産食材を核とした食のコンテンツを活かしたツアー



地域の自然や文化等に精通し、資源を保全・活用する団体を育成

## 特徴③

### 人々の営みと自然が織りなす里山里海を将来に引き継ぐ

貴重な資源を末永く活用し、その恩恵を享受し続けることができるよう、美しい里山里海の景観を、そこに暮らす人々とともに保全しながら、将来世代に引き継いでいく



地域住民が国立公園に住んでいることに意義と誇りを持ち、里山里海の景観を自ら保全し、旅行者におもてなしの心を持って接するよう人を育てていく

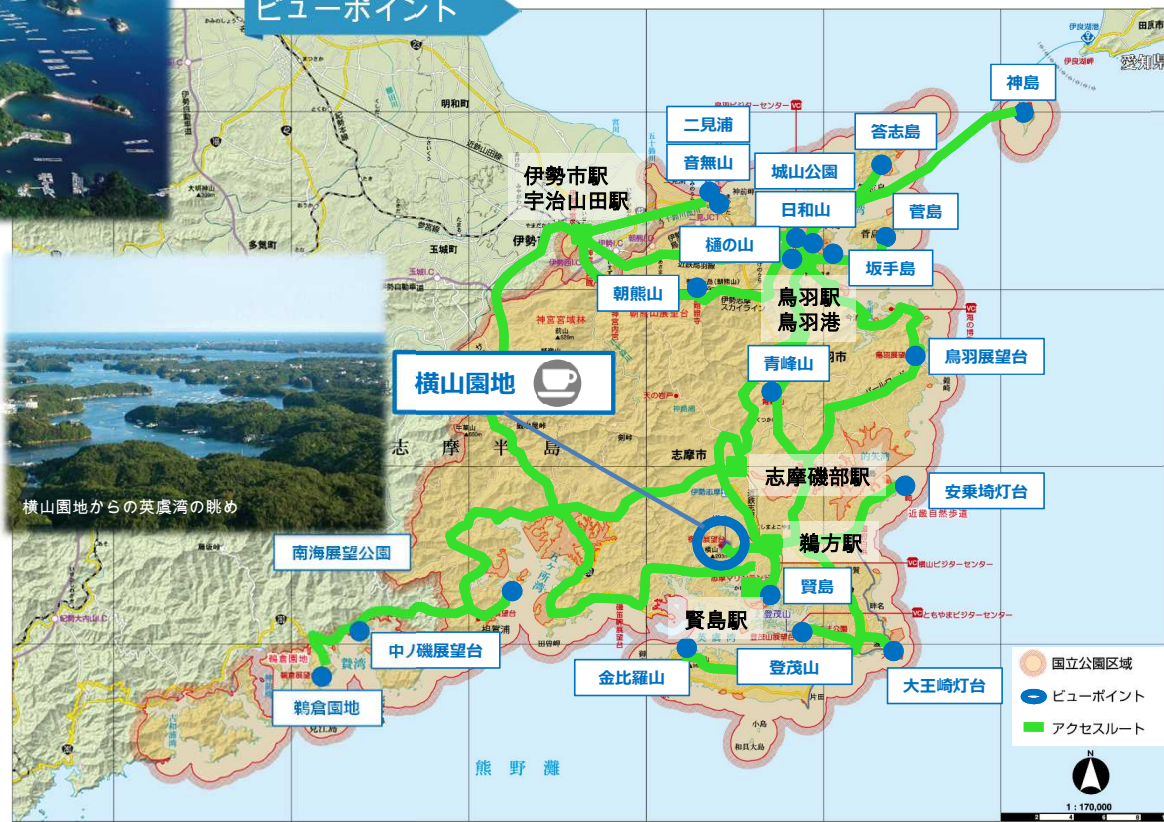


ナショナルトラスト運動の推進により、地域住民が主体となり伊勢志摩の貴重な自然環境を保全



景観計画の作成及び変更等により太陽光発電施設等の規制検討

## ビューポイント



里海を体感するエコツアー



干潟再生の取組 (干潟の観察会)



# 大山隠岐国立公園 満喫プロジェクト

日本の大地の成り立ちが刻まれ、神話・信仰が息づく山・島・海

(数値目標) ~ 外国人利用者数 2015年の2.5倍(2020年) ~

## 特徴①

### 環境保全に貢献しながら公園を楽しむ

ボランティア活動の歴史が長い大山等において、利用者が環境保全に貢献する仕組みの充実

- 登山道保全のためのボランティア活動を組み込んだトレッキングを商品化し、料金の一部を管理運営に還元する仕組みを検討
- ロッカーやシャワーの利用料金を施設の管理運営に還元する仕組みを検討
- ツアーやプログラムにおける協力金の徴収と施設や景観維持管理に充てる仕組みの検討
- 大山の道路において自動車のオーバーユース対策を継続しつつ、協力金の導入を検討

## 特徴②

### 海から山までつながる多彩な自然の恵みを幅広く楽しむ

総合的な利用拠点の整備やアクティビティの開発と活用により、国立公園の雄大な景色を、シーカヤック、サイクリング、登山、野鳥観察等を通じて満喫

- 官民連携による、トレッキング、自然観察、日本遺産を含む文化体験の総合的な利用拠点の整備（ツアーデスクの設置、登山用品の貸出、空屋活用によるカフェの誘致など）（H28年度より着手）
- 大山山頂避難小屋や浄土ヶ浦休憩施設等において、カフェ等の各種サービス提供を検討
- キャンプ場再整備と民間事業者によるグランピング等の誘致
- シーカヤック、サイクリング等のツアーの開発やガイド養成

## 特徴③

### 旅慣れたリピーターがより深く日本を知る

日本の最も古い歴史である「神話」や大地の成り立ち、日本の原風景を楽しめるプログラム開発、ガイド育成や施設整備の実施

- 日本遺産関連施設や歴史文化資源も活用したガイドツアー・プログラムの策定とガイド養成を検討
- 日本の原風景が残る街並みも楽しめるトレッキングなどを含むガイドプログラムを開発し、日本の歴史的な風習（神事、祭事等）等を解説できるガイドの養成を行うとともに多言語音声システム導入の検討
- トレッキング、サイクリングなどのアクティビティを通じた世界ジオパークの地質資源をガイドするプログラムの検討

## ビューポイント

浄土ヶ浦

桂島海岸・加賀の潜戸・多古鼻

五本松公園・地藏崎園地

大山山頂



榊水高原からの眺め

三徳山投入堂

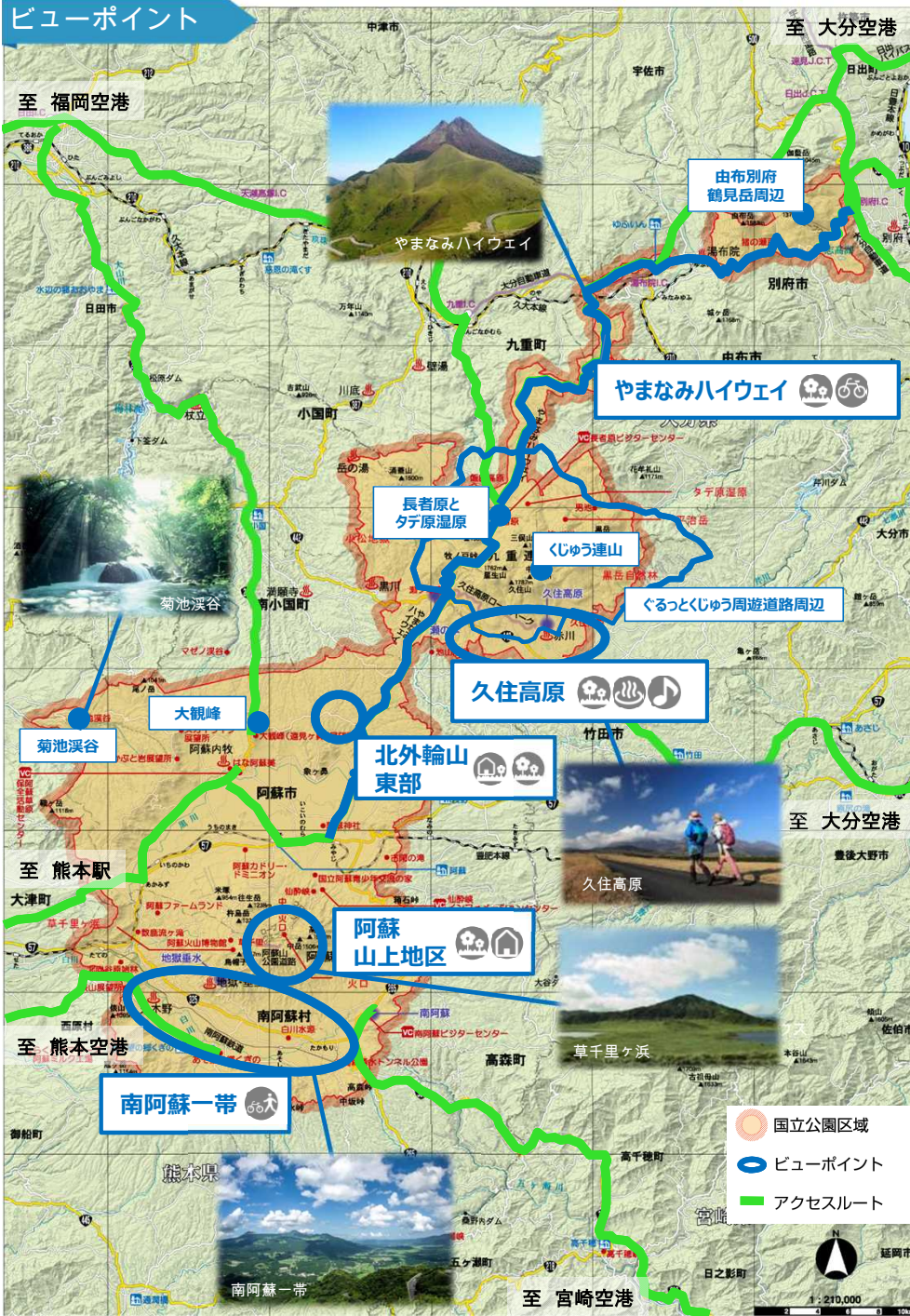


# 阿蘇くじゅう国立公園 満喫プロジェクト

復興の大地～草原のかほり、火山の呼吸。人が継ぎ、風と遊ぶ感動の大地～

(数値目標) ～ 外国人利用者数 68万人(2015年) → 140万人(2020年) ～

## ビューポイント



## 特徴①

### 広大な草原空間の活用と保全

草原空間を核としたフィールドミュージアム構想を基本とし、草原を体感できる拠点施設整備をはじめ、利用者負担金による草原再生検討

- フィールドミュージアムの拠点として草原を体感する施設整備検討 (H29 より検討開始)
- 野焼き等の継続支援や利用者負担導入の検討による草原再生 (H29 より検討開始)
- 草原景観を楽しむ新たなアクティビティの開発 (ホーストレッキング、スカイスポーツ等)



## 特徴②

### バイク、サイクリングなどで、火山と草原が作り出した雄大な景観を体感するロードパークへ

高い評価を受ける草原のワインディングロードなど、絶景の中を走る道路を活かしてサイクリング・ツーリングコースを設定し、利用環境を整備

- 大景観を堪能できる阿蘇とくじゅうをつないだサイクリングイベントなどの実施
- 外輪山100km一周バイクレースなどの開催の検討
- モンベルと連携したサイクリングなどのアウトドアプログラム開発 (開始済)
- カルデラを一望でき、ライダー等の拠点となる施設の再整備の検討



## 特徴③

### 地域特有の文化や湯治文化と連携した新たなツーリズムの創出

農耕祭事や神楽など地域特有の文化や、多様な泉質での湯治文化と連携した、新たなツーリズムを創出

- 食・温泉・文化が融合したONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進 (H29 より開始)
- 世界的に活動する和太鼓アーティストグループ「DRUM TAO」とコラボした劇場・体験施設の整備 (H29 より開始)
- 温泉とマラソンなどを組み合わせたスポーツツーリズムの推進

## 特徴④

### 災害の体験を活かし、安全に楽しめる国立公園へ

災害も阿蘇をジオサイトとして作り上げた自然の営みの一つとして捉え、震災遺構を新たなジオサイトとして保存し、観光資源としても活用。また、教訓を踏まえた、災害に対する安全対策を実施

- 活断層や地割れ等の震災遺構を保存し、学習旅行や観光プログラムに盛り込む (H29 より開始)
- 噴火発生時の避難・退避場所の整備、迅速かつ適切な情報発信 (H29 より開始)
- 火山博物館とビジターセンターの一体的な整備の検討



# 霧島錦江湾国立公園 満喫プロジェクト

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾




(数値目標) ~ 外国人利用者数 7.1万人(2015年) → 20万人(2020年) ~

~ まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食 ~

## 特徴①

歴史と神話に彩られた活きた火山景観を体感、ここにしかない多様なガイドツアー




天孫降臨神話のある高千穂峰、活火山で現在も噴煙を上げる新燃岳や桜島、海域カルデラ景観が広がる錦江湾など、様々な火山景観をガイド付き限定利用や魅力的なツアープログラムで堪能する。

-  新燃岳周辺や佐多岬灯台周辺でガイド付き限定利用の検討
-  登山と神話をミックスさせたツアープログラムの開発
-  ビジターセンターへのツアーデスク設置や登山用品の物販等を検討

## 特徴②

外国人旅行者も多様な形態の火山の恵み(温泉、アクティビティ等)を満喫




多種多様な泉質の温泉や山と海を見渡せる温泉等を快適に楽しみ、火山湖や海での水上アクティビティや天然温泉掘り等の火山ならではの体験を堪能する。

-  既存温泉施設を外国人旅行者が利用しやすいよう再整備を検討
-  SUP、カヌー、カヤック等の水上アクティビティの開発を検討
-  天然温泉掘り・桜島ナイトツアー等既存メニューの磨き上げを検討

## 特徴③

山から海まで、南九州の自然、文化、食をまるごと満喫

多彩な魅力を持つ3地域を外国人旅行者が公園内を周遊・滞在しながら、南九州の自然、文化、食を満喫する。

-  九州自然歩道や九州奥レ、フットパスなどの連絡会議等と連携し、ゆっくり歩いて楽しむプログラムの開発 (H29より開始)
-  既存文化施設との連携や、地元食を活かしたプログラム開発を検討 (H29より検討開始)
-  上質な宿泊施設の誘致 (H29より開始)

## ビューポイント

えびの高原・白鳥温泉    



桜島  





# 慶良間諸島国立公園 満喫プロジェクト




ちゅ  
美ら海慶良間 - リトリート・海と島がつくるケラマブルーの世界 -

※訪日外国人の割合 15%  
(数値目標等) ~ 利用者数 22.5万人(2015年) → **25.3万人(2020年)** ~  
利用者の満足度の向上

## 特徴①

### ゆったり快適な島時間で心をリセット

美しいケラマブルーの海や島が作りだす穏やかな景観の中でゆっくりとした時間を過ごし、島民との交流の中で心を癒やすリトリート

-  島内で快適で充実した時間を過ごせるよう、建築物を沖縄らしい景観に統一し、展望の妨げになる障害物を撤去
-  港近くの公共施設など利用者が集中する施設において、地元の産物を提供するカフェなどを導入し、ゆったりと展望を楽しみながら休憩
-  島内の主要拠点へWi-Fi環境の整備、クレジット決済の導入によりストレスなく滞在





阿嘉島のビジターセンター（イメージ）



## 特徴②

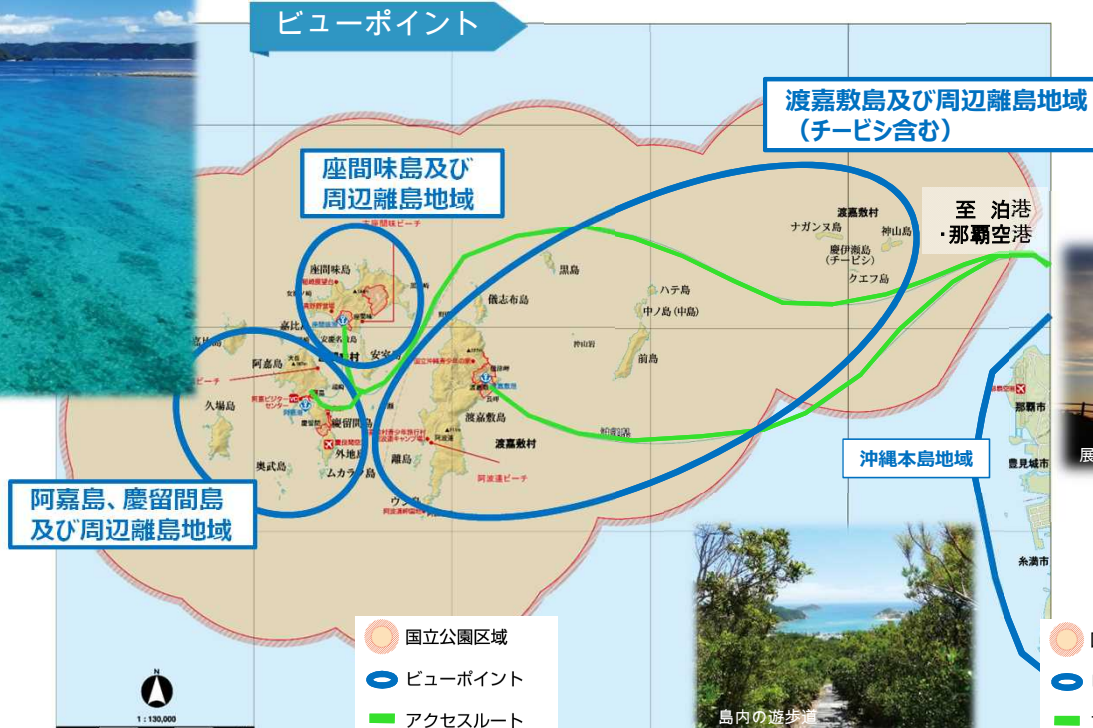
### サンゴ礁保全に貢献するエコツーリズム

サンゴ礁など島の自然を保全しながら持続的に活用していくため、利用者が保全に貢献する仕組みを構築

-  入域の際に環境協力税を徴収し、自然環境の保全等へ活用（H29より検討開始）
-  阿嘉島のサンゴ養殖施設で育てたサンゴにより、自然再生活動の体験プログラムを提供






## ビューポイント



## 特徴③

### 一年中楽しめる海と陸のアクティビティー

慶良間諸島の最大の魅力である美しい海を外国人旅行者にも楽しめるように受け入れ体制を強化。利用の集中する夏の海だけでなく、冬期でも楽しめる新たな魅力の発信や、陸域の利用を推進

-  既存のエコツアー、ダイビングプログラムなどを外国人旅行者に提供できる体制を構築
  -  冬期に陸から見えるホエールウォッチングを推進
  -  陸域のアクティビティー開発、コース設定、ガイド育成を実施
- 様々な景色が楽しめる魅力的な展望台を巡る島内のウォーキングコースを設定し、自然や歴史に関する解説板を設置



○ 国立公園区域  
● ビューポイント  
— アクセスルート



国立公園別訪日外国人利用者数推計値等

参考資料2-1  
第4回有識者会議資料

当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の調査票情報を利用し、算出したもの。  
「訪日外国人消費動向調査」は国籍・地域毎に回収目標数の抽出率が異なるため、母集団構成に合わせることを目的として、本年より、四半期別および国籍・地域別ウエイトバック集計を行う方法に見直した。(平成27年分も再計算している。)

公園名	訪日外国人								関係都道府県
	H27				H28【暫定値】				
	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	アジア系 (%)	欧米系 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	アジア系 (%)	欧米系 (%)	
1 利尻礼文サロベツ	5	31.6%	-	-	14	21.1%	76.2	23.8	北海道
2 知床	21	15.4%	81.0	19.0	28	14.5%	97.1	2.9	北海道
3 阿寒	63	8.9%	98.4	1.6	58	10.2%	97.7	2.3	北海道
4 釧路湿原	34	12.0%	79.7	20.3	27	15.0%	87.3	12.7	北海道
5 大雪山	64	8.8%	96.9	3.1	83	8.5%	97.9	2.1	北海道
6 支笏洞爺	688	2.6%	92.3	6.0	827	2.7%	94.9	5.1	北海道
7 十和田八幡平	7	26.7%	-	-	22	16.6%	86.4	2.5	青森県、岩手県、秋田県
8 三陸復興	10	22.4%	65.0	35.0	16	19.2%	62.4	37.6	青森県、岩手県、宮城県
9 磐梯朝日	0.5	100.0%	-	-	4	39.4%	81.9	18.1	山形県、福島県、新潟県
10 日光	190	5.1%	56.4	35.0	241	5.0%	59.7	27.7	福島県、栃木県、群馬県
11 尾瀬	-	-	-	-	2	53.2%	100.0	0.0	福島県、栃木県、群馬県、新潟県
12 上信越高原	214	4.8%	81.9	16.2	265	4.7%	84.4	14.9	群馬県、新潟県、長野県
13 秩父多摩甲斐	19	16.2%	60.5	18.4	22	16.5%	83.4	16.6	埼玉県、東京都、山梨県、長野県
14 小笠原	-	-	-	-	0	133.5%	100.0	0.0	東京都
15 富士箱根伊豆	2,341	1.4%	87.5	9.2	2,577	1.4%	84.5	11.4	東京都、神奈川県、山梨県、静岡県
16 中部山岳	338	3.8%	68.3	23.3	351	4.1%	67.2	23.6	新潟県、富山県、長野県、岐阜県
17 妙高戸隠連山	8	24.2%	-	-	6	32.5%	29.9	70.1	新潟県、長野県
18 白山	3	40.8%	-	-	1	66.3%	68.1	31.9	富山県、石川県、福井県、岐阜県
19 南アルプス	-	-	-	-	1	93.6%	100.0	0.0	山梨県、長野県、静岡県
20 伊勢志摩	33	12.2%	79.1	20.9	61	9.9%	84.9	11.1	三重県
21 吉野熊野	53	9.7%	72.9	19.6	59	10.1%	76.2	19.7	三重県、奈良県、和歌山県
22 山陰海岸	32	12.4%	61.5	32.3	50	10.9%	84.0	16.0	京都府、兵庫県、鳥取県
23 瀬戸内海	296	4.1%	67.7	26.1	310	4.0%	61.0	32.3	大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県
24 大山隠岐	6	28.9%	-	-	14	20.8%	85.5	14.5	鳥取県、島根県、岡山県
25 足摺宇和海	0.5	100.0%	-	-	5	35.4%	59.9	40.1	愛媛県、高知県
26 西海	55	9.5%	82.7	17.3	74	9.0%	66.8	24.6	長崎県
27 雲仙天草	28	13.2%	87.7	5.3	29	14.4%	82.1	2.8	長崎県、熊本県、鹿児島県
28 阿蘇くじゅう	682	2.7%	97.5	1.4	675	2.9%	99.0	0.7	熊本県、大分県
29 霧島錦江湾	71	8.3%	90.9	6.3	79	8.7%	97.0	3.0	宮崎県、鹿児島県
30 屋久島	10	22.4%	25.0	55.0	17	19.0%	59.5	26.0	鹿児島県
31 奄美群島	-	-	-	-	-	-	-	-	鹿児島県
32 やんばる	-	-	-	-	-	-	-	-	沖縄県
33 慶良間諸島	-	-	-	-	-	-	-	-	沖縄県
34 西表石垣	12	20.4%	58.3	25.0	14	20.8%	73.2	26.8	沖縄県
合計(選定された8公園)	1,052	-	88.8	8.7	1,150	-	89.4	7.4	
合計(各公園計)	5,284	0.8%	85.0	11.5	5,932	0.9%	84.3	12.1	
合計(実利用者数)	4,902	0.9%	86.7	10.1	5,457	0.9%	85.6	11.3	
訪日外客数全体 *2	19,737	-	16,646	2,985	24,039	-	20,103	2,956	

…選定された8公園

…参考値 \*3

\*1 推計実利用者数:当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1人の利用者が2つの公園に訪れると2人と数え、合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れても1人と数える。千人単位で四捨五入している。  
\*2 訪日外客数全体:出典:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」 ※平成28年1月-10月の数値は暫定値、11月、12月の数値は推計値。  
\*3 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用の際には、信頼性の低い参考値であることを明記し、その旨を理解して使用すること。

※「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。  
※平成27年データの「尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」「南アルプス国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。

## 先導的モデルとなる国立公園の選定について

### 選定のメルクマールを有識者会議の議論を踏まえて設定

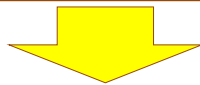
#### 1. 地元の熱意と仕組み

- ①地元の主体性、推進体制の構築
- ②インバウンド増加に係る戦略・計画の策定
- ③自然環境（景観を含む）を損なうことのない適正な利用の担保

#### 2. インバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）

- ①観光資源としてのポテンシャル
- ②幅広い主体（観光庁・文化庁・民間等）との有機的連携のポテンシャル

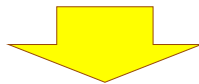
#### 3. 特徴あるテーマ性、モデル性



### 自治体（道県）から要望があった国立公園は16公園

- ・阿寒国立公園（北海道）
- ・日光国立公園（栃木県）
- ・富士箱根伊豆国立公園（静岡県）
- ・妙高戸隠連山国立公園（長野県）
- ・吉野熊野国立公園（和歌山県）
- ・大山隠岐国立公園（鳥取県、島根県）
- ・雲仙天草国立公園（長崎県）
- ・霧島錦江湾国立公園（鹿児島県、宮崎県）
- ・十和田八幡平国立公園（青森県、秋田県、岩手県）
- ・上信越高原国立公園（長野県）
- ・中部山岳国立公園（富山県、岐阜県）
- ・伊勢志摩国立公園（三重県）
- ・瀬戸内海国立公園（兵庫県、香川県）
- ・足摺宇和海国立公園（高知県）
- ・阿蘇くじゅう国立公園（熊本県、大分県）
- ・慶良間諸島国立公園（沖縄県）

※締め切りまでにメルクマールに沿った総合的評価が可能な情報をいただいた道県に限る



- メルクマールに沿って、総合評価を行った結果、8つの公園を候補として選定
- 選定された公園では複数のビューポイント（重点取組地域）において先行的、集中的に取組を推進
- 要望があったその他の公園についても1, 2か所のビューポイントにおいて、それぞれの特性に合ったハードやソフトの取組を実施

**全国の国立公園に展開！！**

**2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を1000万人に！**

## 国立公園満喫プロジェクト実施箇所の選定にあたっての 基本的な考え方

- 本プロジェクトは最終的には全国32の国立公園で実施していくものであり、まずは「先導的モデル」となる国立公園を選定して集中的に対策を実施し、その成果を全国に展開することとしている。
- このため、選定にあたっては、地元の熱意やそれを支える仕組み（体制や担保措置）やインバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）が揃っていることが必要である。
- 加えて、「先導的モデル」となる特徴的なテーマ性、モデル性にも配慮する。

## 1. 地元の熱意と仕組み

### ①地元の主体性、推進体制の構築

- ✓ 関係都道府県及び市町村が揃って要望するなど地域が一体となって取り組む体制ができているか？（関係自治体に予算の確保や体制の整備などの主体的に取り組む意志があり、持続的、長期的に取り組む意志があるか？）
- ✓ 地域に根差し持続的な組織であるDMO等の観光推進組織が設立され、当該団体の積極的な関与の意志があるか？
- ✓ 地域観光に影響力があるリーダーが熱心に取り組む意志があるか？
- ✓ 若い世代を含めた人材を確保する仕組みがあるか？

### ②インバウンド増加に係る戦略・計画の策定

- ✓ 数値目標等を有する具体的な戦略・計画があるか？（関係自治体の合意状況含む）
- ✓ 景観統一（民間施設含む）などに関する具体の担保措置があるか又は検討されているか？（検討にあたっては、対象地やスケジュールが具体的であるか）
- ✓ 国立公園（公園に通じるアクセス道路等を含む）のサインの統一等による国立公園をキーワードとした告知・PR戦略があるか又は検討されているか？（検討にあたっては、対象地やスケジュールが具体的であるか）

### ③自然環境（景観を含む）を損なうことのない適正な利用の担保

- ✓ ビューポイント（重点取組地域）ごとの自然環境を損なわずに利用者を増やす余地があり、それが適切に評価されているか？
- ✓ ビューポイントごとのオーバーユースに関する対策について、マイカー規制やエコツーリズム全体構想等の具体の担保措置があるかまたは検討されているか？（検討にあたっては、対象地やスケジュールが具体的であるか）
- ✓ ビューポイントごとのオーバーユースに関するモニタリング、評価の体制があるか？

## 2. インバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）

### ①観光資源としてのポテンシャル

- ビューポイントの訴求力の具体性や有効性
  - ✓ 長期滞在に資する多様なアクティビティや多様な利用者のニーズに対応できる宿泊施設が提供できるか？
  - ✓ 各国立公園のブランドを高めるストーリー性のある一連のアクティビティが提供できるか？
- （特に）外国人利用者への訴求力
  - ✓ 多くの外国人利用者を惹きつける魅力のある、又は、磨くことで外国人利用者を惹きつけられる観光資源があるか？

### ②幅広い主体（観光庁・文化庁・民間等）との有機的連携のポテンシャル

- 広域観光周遊ルートや日本遺産等との連携
  - ✓ 広域観光周遊ルートに組み込まれているか？
  - ✓ 日本遺産等と連携した、新たな取組の可能性はあるか？
  - ✓ 鉄道、バス事業者、旅行業者などの民間事業者とのタイアップが期待できるか？

## 3. 特徴あるテーマ性、モデル性

- 個性あるテーマをもった観光資源の提供（例 広大な自然、温泉、エコツーリズム、文化）
  - ✓ 手つかずの大自然が広く残され、それが損なわれることなく、利用者が体感することができるか？
  - ✓ 温泉を魅力ある観光資源として国立公園のインバウンド増加に結びつけることができるか？
  - ✓ 地域における自然や食、歴史文化、独自のライフスタイル、風土、信仰等を観光資源として活用し、自然や文化に配慮したツーリズム（エコツーリズム）に地域を挙げて取り組んでいるか？
- 災害からの復興
  - ✓ 災害の影響による急激な利用者減に対して、それを反転するための提案があるか？
- 質を重視する個人旅行者への訴求力（モデル性）
  - ✓ 将来的に、外国人旅行者のニーズとして、長期滞在や質の高い宿泊施設利用、文化的な側面を含めた体験などの志向が高まることも見据え、質を重視する個人旅行者の割合の高い欧米からの旅行者が多く訪れているか？

国立公園満喫プロジェクト有識者会議  
委員名簿

<敬称略・五十音順>

【学識者】

ロバート キャンベル（国文学研究資料館長）

わくいしろう  
涌井史郎（東京都市大学環境学部特別教授） ※座長

【観光関係者】

いししいたる  
石井 至（有限会社石井兄弟社社長）

えざききく  
江崎貴久（旅館海月女将、有限会社オズ代表取締役）

デービッド・アトキンソン（小西美術工藝社社長）

ほしのよしはる  
星野佳路（星野リゾート代表）

【ジャーナリスト・ライター】

のぞえ  
野添ちかこ（温泉と宿のライター）